

第2回 横浜市泉区民文化センター指定管理者選定評価委員会 会議録	
日 時	平成 31 年 2 月 22 日 (金) 10 時 00 分～12 時 00 分
開 催 場 所	横浜市泉区役所 2 A 会議室
出 席 者	選定評価委員：石田 麻子、下村 幸子、富岡 美津江、富野 良視、日並 勇 事務局：北川地域振興課係長、小木曾地域振興課職員、小島地域振興課職員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（議事 4 以降）（傍聴人 0 人）
議 題	1 定足数の確認 2 会議の公開・非公開について 3 議事内容及び報告書作成のスケジュールについて 4 各委員からの評価の説明・質疑応答及び評価の決定
決 定 事 項	会議の公開・非公開、議事内容及び報告書作成のスケジュール、各委員からの評価の説明・質疑応答及び評価の決定等
議 事	<p>1 定足数の確認 運営要綱 7 条 3 項の規定に基づき定足数の確認を行いました。</p> <p>2 委員会の公開・非公開について 事務局より、第 2 回選定委員会についても第 1 回目と同様、公平・公正な議論を進める観点から、評価書作成のスケジュールなどについて事務局説明までは公開とし、各委員からの評価の説明・質疑応答及び評価の決定については、非公開とすることを提案しました。 委員会の公開・非公開については、事務局の提案のとおり了承されました。</p> <p>3 議事内容及び報告書作成のスケジュールについて 事務局より、本日の議事内容と報告書作成のスケジュールについて説明し、了承されました。</p> <p>4 各委員からの評価の説明・質疑応答及び評価の決定 (事務局) 報告書の原案は事務局において作成しました。資料 4 の評価表について、各委員の評価が分かれている項目の「外部評価」欄は空欄としているため、本委員会において審議し、決定してください。各項目の評価をもとに、報告書の「3 評価委員会による総評」を決定してください。報告書及び評価表の評価委員会コメントについて、修正等があれば、発言してください。 (委員) 資料 4 「平成 29 年度横浜市泉区民文化センター指定管理者評価表」から見ていきます。「1 自主事業について」は、各委員の評価は A で一致しています。評価及びコメントについては、付け加えることはありますか。なければこのまま進めます。 「(5) 地域との連携機能」について、これは A 評価でよろしいですか。</p>

(委員)	会場が狭く、収容人数も 300 人程度なのが課題です。
(委員)	椅子の間が狭いと感じます。 近隣の学校では音楽が盛んで、マーチングで全国大会に出場した学校もあります。発表会はみなとみらいのホールまで行っているため、施設を利用してもらうための学校への PR が不足していると感じます。 泉公会堂は利用するけれども、泉区民文化センターテアトルフォンテは使わない方が多いので、価格を下げる必要があると考えます。
(事務局)	現在、学校行事で利用する場合は半額減免、中学・高校の演劇利用の場合は全額減免としています。 座席等の設備については、市へのご意見と受け止めます。
(委員)	「(6) 調査研究の推進」は各委員の意見をお伺いします。
(委員)	自分は B 評価としました。以前は意見交換会がありましたが、現指定管理者となってからは開催されていません。意見を聴く機会を設定すべきです。
(委員)	「2 施設管理運営について」の「(3) サービスの向上」にも関係する内容です。
(委員)	本来、調査研究については紙芝居一座とのネットワークを作り、それをどう活用するかを問題とすべきでした。行政評価では、アンケート収集の結果を活かしていると評価しています。
(委員)	自己評価と行政評価にずれがあります。アンケートの話は視点が違います。どこまでが目標に含まれるのですか。
(事務局)	指定管理者が地域のネットワークを形成し、そのための情報の活用を行うことが目標です。
(委員)	目標に対する評価はするとしても、アンケートはどう扱うべきでしょうか。「調査研究」については、どのように解釈するのかによります。
(委員)	アンケートは、事業ごとに集める普通のアンケートですか。
(事務局)	そのとおりです。
(委員)	ネットワークの形成に関することは、現在行っているアンケートと趣旨が違うと考えます。
(委員)	「具体的な取組事業・業務」はどなたが作成したのですか。
(事務局)	指定管理者です。
(委員)	ここで目標項目と具体的な取組とのギャップが生じているようです。
(委員)	取り入れるものがあれば取り入れる、という姿勢と考えます。
(委員)	「2 施設管理運営」の中の「(1) 地域文化施設としての開かれた運営」について、行政からは地域へも出向くべきとの評価をしています。 委員の大多数が B 評価をしているため、外部評価は B とします。 「教育機関との連携強化」について、意見はありますか。
(委員)	小・中学校の利用が少なく、学校への PR が不足していると考えま

	<p>す。施設の借り方などについて知らないように感じます。</p> <p>指定管理者選定時の提案書に、小・中学校との連携に関する提案はありますか。</p> <p>(事務局) 提案書には大学との連携のみの記載があります。小・中学校との連携は、施設利用よりも、小・中学校でのアウトリーチ活動の提案がされています。</p> <p>(委員) 地域へのアウトリーチの項目は別にありますが、施設へ来てもらうという点が弱いと考えます。</p> <p>(委員) 学年ごとの校外授業はいつ決まるのですか。そのスケジュールに合わせないと施設の利用にはつながりません。</p> <p>(委員) 話し合いの場があれば発言するのですが。施設と役所、そして地域が目線が違います。子どもが参加する行事であれば、両親・祖父母は必ず来館するため、効果的です。</p> <p>(事務局) 小・中学生の利用に関しては、提案書では演劇ワークショップを年12回するとなっていますが、平成29年度の事業報告書では開催実績は1回となっています。</p> <p>ただし、提案書に記載された内容は平成28年度に行う事業についてであり、評価対象の平成29年度とは必ずしも同じではありません。</p> <p>(委員) 練習も含めれば12回程度実施しているはずですが。</p> <p>(委員) 館長によっても施設の運営が変わってきます。</p> <p>(委員) 「教育機関との連携強化」の項目は、「1 自主事業について」の「(5) 地域との連携機能」の中の「ネットワークの構築及び地域コミュニティの活性化」と異なり意図的に大学に限定しているのですか。</p> <p>(事務局) 提案書をもとにしているため、意図的に分けています。</p> <p>(委員) 「(3) サービスの向上」の「利用者の立場に立った貸出業務」について、各委員の意見を確認します。</p> <p>(委員) 利用者からすると、申込方法について電話で問い合わせると、インターネットで申し込むよう案内されて困惑します。</p> <p>(事務局) 現在は受付横にパソコン端末が置いてあり、その場でインターネットでの申し込みができるように改善されています。</p> <p>(委員) 第1回選定評価委員会の際に施設を視察しましたが、利用者への対応は改善されていると感じました。</p> <p>(委員) 高齢者にも優しい対応が必要であると感じます。</p> <p>(委員) 吉野町市民プラザなどの他の施設よりも施設の予約はしにくいと感じます。</p> <p>(委員) 利用団体の全員の名簿や、利用カードが必要であるなど、予約をするのが煩雑であると感じます。</p> <p>(委員) 地元の利用者のご意見を尊重し、B評価にします。</p> <p>(委員) 「区民ニーズの抽出と対応」について御意見はありますか。</p> <p>(委員) 健康関係の講座は立ち見が出るほど人気がありました。時代に沿っ</p>
--	---

	たニーズを考えるべきです。特に高齢者向けのものがが必要です。
(委員)	事業ごとのアンケートですと、そのアンケートに沿った内容の回答しかありませんが、それ以外のニーズの把握が必要です。
(委員)	来年度は泉公会堂が休館となるため、泉区民文化センターの利用者が増えます。ニーズの抽出は不十分と考えます。
(委員)	「(4) 地域文化施設としての適切な組織運営と専門的な人材確保とスタッフの育成」についてはどうですか。
(委員)	区役所や公会堂と比べると、スタッフの接客態度は良くないと感じます。業務を理解しておらず、事務室から他のスタッフを呼んでくるなどのケースがありました。
(委員)	話し方の問題もあります。照明などの技術スタッフは、設備自体に危険性があるため声が大きく、明確な言い方をします。
(委員)	「適切な組織運営」についてですが、明るい雰囲気は不足しているとの厳しい意見があります。
(委員)	組織運営の観点からは少し相違する意見です。
(委員)	コメントとしては残しますが、目標項目「高い意欲と経験のある人材の確保・スタッフの育成」に移します。
(委員)	「3 施設の維持管理について」の「(2) 小破修繕への取組」についてですが、大半の委員はB評価としています。
(委員)	予算上の制約があるので仕方ありません。
(委員)	指定管理者の業務ではないと思いますが、長期修繕計画のようなものは指定管理者から提案されていますか。
(事務局)	提出はされていません。施設の長期修繕は本市で各施設を調査し対応します。ただし、修繕に関する見積もりは参考までに提出されることがあります。
(委員)	「4 収支について」の「(2) 収入向上への努力」についてですが、収支決算書では500万円程度の収支差額が計上されていますが、ここに消費税や法人税は含まれているのですか。純益が不明なので、手元にはどの程度の利益が残るのかわかるようにしてほしいです。
(委員)	税を含めた決算となっています。法人税は按分して負担しているのか否かは法人全体で捉えるため、不明です。
(委員)	利益が出ているのであれば、その利益は本来指定管理者の収入ではあるものの、修繕や清掃に充ててほしいです。そのため、利用者目線で清掃するよう、コメントしました。
(委員)	この項目をB評価とすると、経費削減のため、スタッフの削減につながりかねません。スタッフの雇用条件は良くすべきと考えます。
(委員)	最低賃金は年々上昇していますが、人件費の市からの補填がありません。経営努力で吸収するのは困難です。
(委員)	月間積算資料でも、人件費などは5%程度上昇しています。最低賃金に加え、委託費も上げるようにすべきです。

	<p>(事務局) 平成 30 年度以降に指定期間が開始する指定管理施設については、賃金スライド制度が導入されており、最低賃金の改定に伴い指定管理料も変動するようになっていきます。</p> <p>(委員) 「5 その他」の「危機管理マニュアルの作成・共有」についてですが、マニュアルは完成させるべきものです。</p> <p>(事務局) 指定管理者に確認したところ、指定管理開始時に危機管理マニュアルは完成していましたので、行政評価は A 評価に訂正します。</p> <p>(委員) 総合評価を整理します。事務局から説明してください。</p> <p>(事務局) 現在の議論を整理した結果、次のように提案します。</p> <p>「1 自主事業について」・・・A 「2 施設管理運営について」・・・B 「3 施設の維持管理について」・・・A 「4 収支について」・・・A 「5 その他」・・・B</p> <p>(委員) 情報公開規定について、提案書ではどのような提案がされていますか。</p> <p>(事務局) 制定の期限は記載されていません。</p> <p>(委員) C 評価はあってもよいと考えます。</p> <p>(委員) 総合評価は、外部評価の A～C の数により決めるのですか。</p> <p>(事務局) 各目標項目の軽重もあると思いますので、A～C の数だけでなく、総合的に判断してください。</p> <p>(委員) 人権尊重の観点から、ウェブアクセシビリティへの配慮は必要です。エレベーターの運用改善は評価できます。</p> <p>(委員) 「5 その他」に C 評価の項目があるため、「5 その他」の総合評価を A とすることには疑問があります。</p> <p>(委員) B 評価とします。</p> <p>(委員) 全体の総合評価は A とします。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
資 料	<p>1 資料</p> <p>(1) 議事次第</p> <p>(2) 横浜市泉区民文化センター指定管理者業務評価報告書 (案)</p>